



神戸市外国語大学学術情報センター

図書館活動報告

2014 年度

神戸市外国語大学学術情報センター

統計表中の一般的な記号用法は次のとおり

「--」該当数字なし

「0」該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「…」不明，不詳，不定及び算出不能の数

目次

1. 2014 年度主な出来事	1
2. 蔵書数・受入数	2
1) 図書	2
2) 雑誌・新聞	3
3) 視聴覚資料	3
3. 利用統計	4
1) 開館状況	4
2) 入館者数統計	5
3) 貸出統計	6
4) レファレンス	7
5) 図書館間相互協力	7
6) 館内 OPAC(蔵書検索)利用推移	7
7) データベース利用統計	8
8) 視聴覚ブース利用状況	9
4. 図書館サービス	10
1) ラーニングコモنزの設置	10
2) ラーニングアドバイザーの配置	12
3) 利用者教育	13
4) イベント・企画・展示等	15
5) 広報活動	18
6) 情報環境の整備	19
7) 図書データ遡及の実施	20
5. 機関リポジトリ	21
1) コンテンツ種別内訳	21
2) アクセス統計	21
6. 地域貢献	22
1) 市民利用制度実施状況	22
2) トライやる・ウィークの受入れ	23
3) まちづくりスポット神戸 図書館見学会「図書館ツアー」受入	23
7. 学術情報部会	24
1) 2014 年度委員	24
2) 開催記録	24

8. 経費	25
1) 予算の推移	25
2) 2014 年度決算	26
9. 研修・学外会議記録	27
1) 研修等参加記録	27
2) 講師派遣	28
3) 学外会議等参加記録	28
10. 組織・施設情報	29
1) 組織・事務分掌	29
2) 蔵書・コレクション	30
3) 図書館施設・設備	31
4) 関係諸規程	32
5) 沿革	49
6) センター長（図書館長）	52

1. 2014 年度主な出来事

2014 年

- 4月 1日(火) 情報メディア班が経営企画グループに組織改正
授業期の開館時間を 8:40 に変更(試行)
1・2 年生の貸出冊数を 5 冊から 10 冊に変更
- 4月 9日(水) ラーニングcommons 供用開始
- 4月 9日(水) ~5月 17日(土) 全 1 年生対象の初年次教育をクラスごとに実施(8 回)
- 6月 2日(月) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス(閲覧・複写)開始
館内 OPAC リニューアル
- 6月 4日(水) WebOPAC リニューアル・ILL の Web での受付開始
- 6月 6日(金) 図書館蔵書の 2014 年度遡及作業開始
- 8月 18日(月) ~8月 25日(月) 蔵書点検中に書庫内の卒論を移動
- 9月 1日(月) 図書館の Facebook 公開(試行)
ラーニングcommons・第二閲覧室の PC 更新(情報基盤更新)
学術認証フェデレーション(学認)に参加(情報基盤更新)
- 10月 1日(水) ラーニングアドバイザー(LA) 活動開始
- 10月 6日(月) ノート PC10 台, 図書館内貸出利用開始
- 11月 5日(水) 選書ツアー
- 11月 11日(火)・12日(水) トライやる・ウィーク受入(多聞東・長坂中学)
- 12月 9日(火)・10日(水) トライやる・ウィーク受入(太山寺中学)
- 12月 10日(水) 選書ツアー茶話会・ミニビブリオバトル

2015 年

- 2月 13日(金) まちづくりスポット神戸 図書館見学会「図書館ツアー」受入
- 2月 13日(金) 国立国会図書館から貸出を受けた資料の複写利用承認
- 3月 24日(水) ~3月 27日(月) 閲覧室書架ボルト固定工事

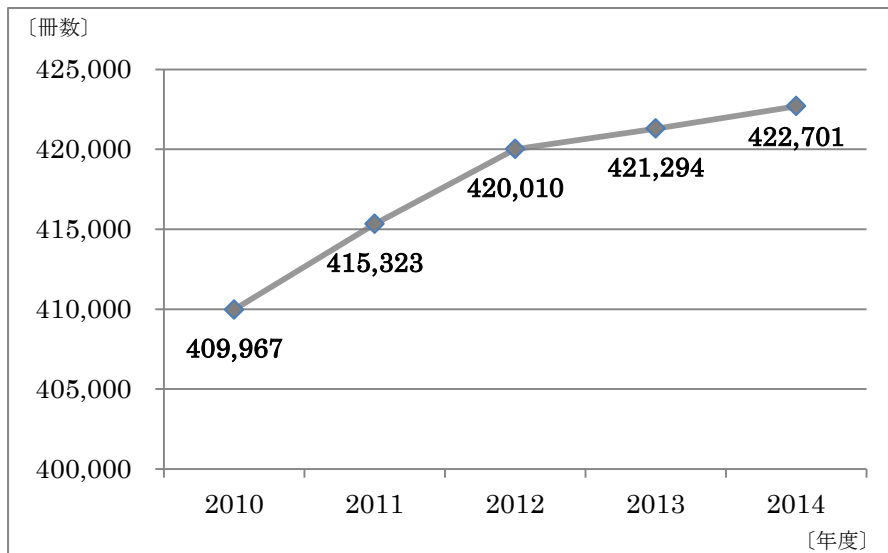
2. 蔵書数・受入数

1) 図書

2014 年度蔵書構成

(単位：冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
2010 年度	62,574	15,289	30,541	75,723	5,851	4,644	7,842	7,600	35,095	73,330	91,478	409,967
2011 年度	63,391	15,526	31,112	76,435	5,980	4,796	8,002	7,760	36,056	73,978	92,287	415,323
2012 年度	63,972	15,668	31,504	76,875	6,013	4,887	8,092	7,935	36,815	74,605	93,644	420,010
2013 年度	64,179	15,789	31,894	78,129	6,074	4,919	8,148	8,175	38,109	75,634	90,244	421,294
	和書	42,096	12,690	20,004	55,994	4,974	5,535	5,394	17,584	32,920	34,998	236,062
2014 年度	洋書	22,403	3,280	12,096	22,449	1,160	2,475	2,910	20,314	42,637	55,843	186,639
	計	64,499	15,970	32,100	78,443	6,134	8,010	8,304	37,898	75,557	90,841	422,701



開架冊数

2010 年度	85,676 冊
2011 年度	88,252 冊
2012 年度	90,496 冊
2013 年度	84,995 冊
2014 年度	88,643 冊

受入・除却数

(単位：冊)

	和書			洋書			合計	除却数
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計		
2010 年度	5,453	724	6,177	1,881	155	2,036	8,213	212
2011 年度	5,209	732	5,941	1,619	476	2,095	8,036	2,680
2012 年度	4,450	767	5,217	1,699	120	1,819	7,036	2,349
2013 年度	4,218	972	5,190	1,484	104	1,588	6,778	4,022
2014 年度	3,725	826	4,551	1,013	91	1,104	5,655	2,964

※2011-2014 年度：購入は一般図書と専用図書の合計。寄贈は保管転換を含む。

2) 雑誌・新聞

雑誌

(単位：種)

日本語雑誌	外国語雑誌							計	総計
	英米	ロシア	中国	イスパニア	独仏	その他			
3,870	681	90	583	48	106	12	1,520	5,390	

※ 電子ジャーナルは含めず。

受入数

(単位：種)

	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
2010年度	224	1,227	1,451	336	4	340	1,791
2011年度	226	1,233	1,459	337	5	342	1,801
2012年度	226	1,240	1,466	339	6	245	1,811
2013年度	219	1,235	1,454	298	10	308	1,762
2014年度	226	1,212	1,438	300	13	313	1,751

新聞

(単位：紙)

	日本語新聞	外国語新聞						計	総計
		英米	ロシア	中国	イスパニア	独仏	その他		
所蔵	14	18	6	15	5	3	4	51	65
2014受入	11	6	1	5	1	1	0	14	25

※ オンラインデータベース収録紙は含めず。

2009年1月より新聞データベースを導入

Newspaper Direct Library PressDisplay: 48言語、1700紙以上の各国新聞が60日間閲覧可能

3) 視聴覚資料

所蔵状況

(単位：点)

	ビデオ (カセット)	レーザー ディスク	オーディオ (カセット)	オーディオ (オープン)	レコード	CD	ビデオ CD	DVD	合計
2010年度	1,903	727	984	53	129	279	117	2,358	6,550
2011年度	1,903	727	984	53	129	324	117	2,779	7,016
2012年度	1,903	727	984	53	129	342	117	3,257	7,512
2013年度	1,903	727	984	53	129	343	117	3,620	7,876
2014年度	1,903	727	984	53	129	352	117	4,182	8,447

※MP3はCDに含む

2014年度 受入・除却数

(単位：点)

	ビデオ (カセット)	レーザー ディスク	オーディオ (カセット)	オーディオ (オープン)	レコード	CD	ビデオ CD	DVD	合計
受入	0	0	0	0	0	9	0	562	571
除却	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 利用統計

1) 開館状況

(単位：日)

開館時間帯	9:00—	9:00—	8:40—	8:40—	8:40—	10:00—	17:00—	開館日数	休館日数	市民開放 日数*
	16:30	18:00	21:10	21:20	21:30	18:00	21:10			
開館時間数	7:30	9:00	12:30	12:40	12:50	8:00	4:10			
4月	4		13	3		3	1	24	6	7
5月			14	4		4	1	23	8	4
6月			16	4		4	1	25	5	4
7月			5	1	16	4		26	5	4
8月	4		6	2	3	1		16	15	13
9月	7		8	3		1	1	20	10	20
10月	1		16	4		4	1	26	5	26
11月			13	4		5	1	23	7	23
12月		1	13	4		2	1	21	10	21
1月			4	1	13	3		21	10	3
2月	11				6	1		18	10	12
3月	15							15	16	15
計(日)	42	1	108	30	38	32	7	258	107	152

【休館日】 日曜日・祝日，休業期間中の土曜日，年末年始，蔵書点検期間（8月・3月）

【祝日開講】4月29日

【大学指定休日】5月2日

【気象警報による短縮・休館】10月13日（臨時閉館）

開館時間

授業期間	月—木	8:40—21:10
	金	8:40—21:20
	土	10:00—18:00
休業期間	月—金	9:00—16:30

※ 毎月第3木曜日は館内整理日のため，17:00まで閉館。

※ 試験対応期間(試験前と試験期間中)の平日には，21:30まで開館。

※ 2014年度より授業期間平日の開館時間を9:00から8:40に延長した。

各フロア利用時間

期間	曜日	第一閲覧室	第二閲覧室	視聴覚ブース
授業期	月—木		8:40—21:10	8:40—20:55
	金		8:40—21:20	8:40—21:05
	土	10:00—18:00	閉室	10:00—17:45 ※第一閲覧室のみ
休業期	月—金	9:00—16:30	閉室	9:00—16:15 ※第一閲覧室のみ

2) 入館者数統計

入館者数

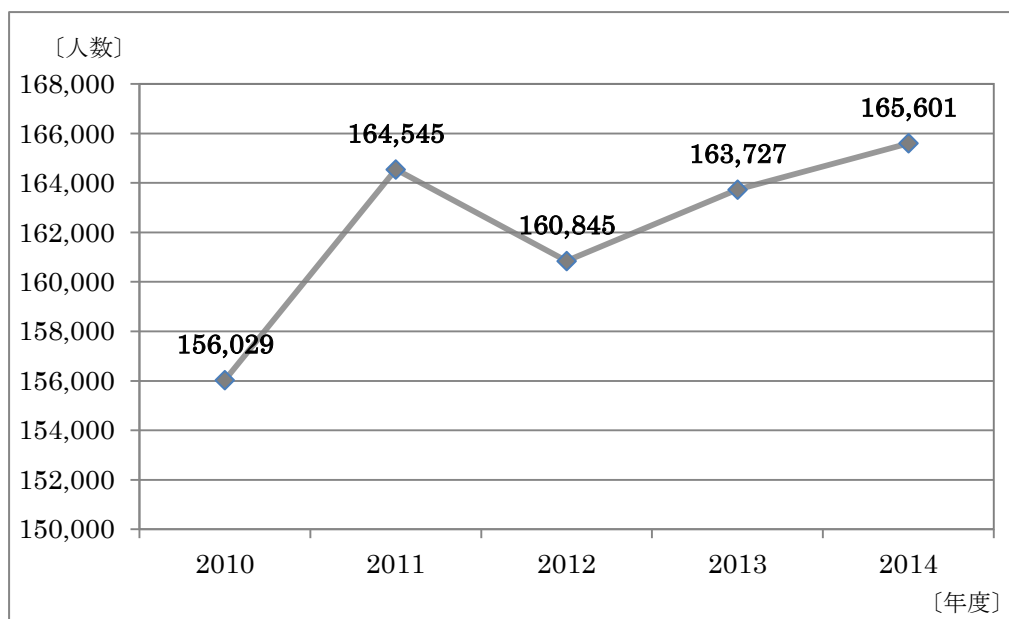
(単位：人)

	2014年						2015年						計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部生	12,601	13,993	16,050	21,069	4,526	6,027	15,680	14,063	12,546	16,071	6,817	2,491	141,934
大学院生	524	597	571	652	163	272	580	558	497	478	229	109	5,230
教職員	1,463	1,277	1,358	1,499	781	923	1,418	1,098	1,082	1,076	839	608	13,422
卒業生	158	197	218	214	139	154	250	212	168	188	115	64	2,077
市民	206	177	178	175	304	301	392	302	267	141	254	241	2,938
計	14,952	16,241	18,375	23,609	5,913	7,677	18,320	16,233	14,560	17,954	8,254	3,513	165,601

1日平均の入館者数

(単位：人)

	2014年						2015年						通年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全利用者	623	706	735	908	283	384	705	706	693	855	459	234	642
市民(内数)	29	44	44	44	23	23	15	13	13	47	17	16	19



入館者数推移

3) 貸出統計

貸出冊数

(単位：冊)

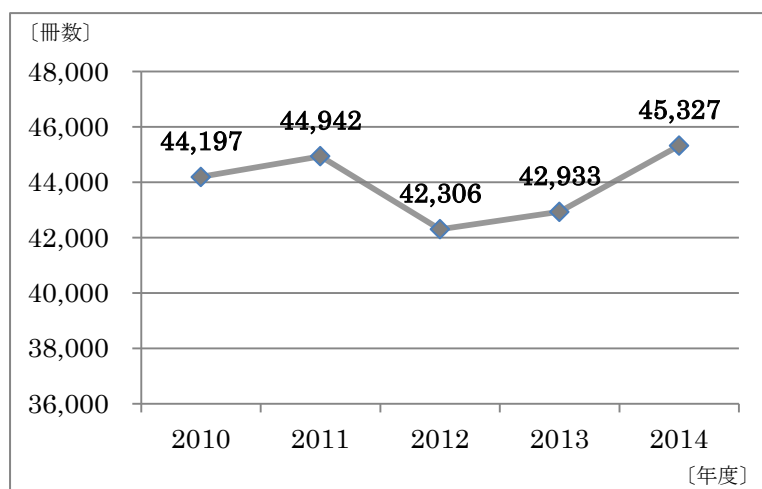
	2014年					2015年					計		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
学部生	2,621	2,929	3,148	4,537	1,628	1,236	3,297	3,098	3,823	4,115	1,690	419	32,541
大学院生	326	244	308	382	119	194	348	266	299	281	201	77	3,045
教職員	444	373	354	427	284	264	394	324	358	334	263	144	3,963
卒業生	120	136	127	181	59	86	157	134	108	139	94	17	1,358
市民	434	381	385	332	358	352	373	427	374	352	350	302	4,420
計	3,945	4,063	4,322	5,859	2,448	2,132	4,569	4,249	4,962	5,221	2,598	959	45,327

※ 2014年度から1・2年生の貸出冊数を、5冊から10冊に増加した。

1日平均の貸出冊数

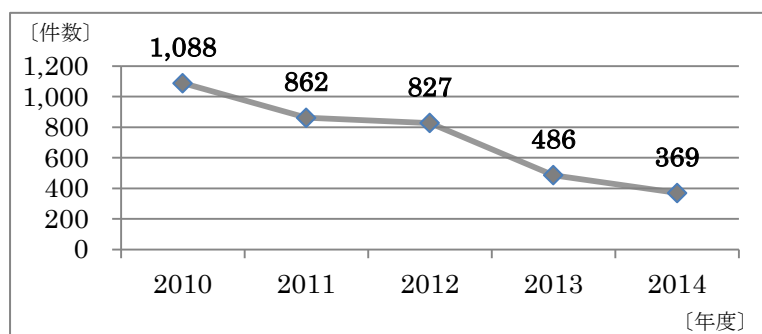
(単位：冊)

	2014年					2015年					通年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
全利用者	164	177	173	225	153	107	176	185	236	249	144	64	165
市民(内数)	62	95	96	83	26	18	14	19	18	117	27	20	36



貸出冊数の推移

年度	貸出者総数	貸出冊数
2010	22,649	44,197
2011	23,402	44,942
2012	22,013	42,306
2013	22,075	42,933
2014	22,947	45,327



予約件数の推移

年度	予約件数
2010	1,088
2011	862
2012	827
2013	486
2014	369

4) レファレンス

年度	件数
2011	3,217
2012	2,788
2013	2,251
2014	2,301

5) 図書館間相互協力

i. 図書貸借

大学図書館 (単位：冊)			神戸市立図書館 (単位：冊)		
年度	貸出	借受	年度	貸出	借受
2012	335	223	2012	882	196
2013	310	247	2013	702	149
2014	296	170	2014	530	149

※2001年度から行っている神戸市立図書館との相互貸借

神戸研究学園都市大学図書館相互利用 (単位：冊)		
年度	貸出	借受
2012	96	36
2013	51	54
2014	61	47

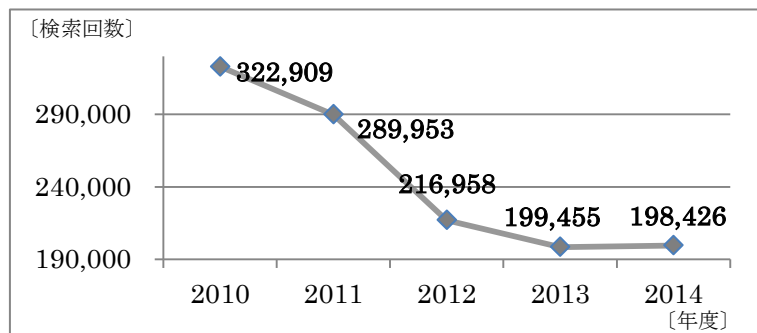
※神戸研究学園都市大学交流推進協議会の加盟大学が地域内の大学図書館の相互協力のため、1998年度から開始した直接貸出制度

ii. 文献複写

(単位：件)

年度	提供	取寄
2012	339	332
2013	288	307
2014	199	238

6) 館内 OPAC(蔵書検索)利用推移



7) データベース利用統計

提供データベース一覧					
種別		言語	名称	略称	収録分野
電子ジャーナル	国内	日	CiNii Articles	CiNii A	全分野
		国外	英	JSTOR	JSTOR
			Academic Search Premier	ASP	全分野
			Literature Online	Lion	文学
			Cambridge Books Online	CBO	全分野
			MLA International Bibliography	MLA	言語学
		西	Fuente Academica Premier*	FAP	全分野
電子書籍	国外	英	Gale Virtual Reference Library	GVRL	全分野
			Oxford English Dictionary Online	OED	言語
			Oxford Dictionary of National Biography Online	ODNB	人物
			Encyclopaedia Britannica Online	EB	百科事典
			Max Planck Encyclopedia of Public International Law	MPEPIL	国際公法
データベース	国内	日	Japan Knowledge Lib	JK	百科事典
			聞蔵Ⅱビジュアル	聞蔵Ⅱ	新聞記事
			日経テレコン21	日経	新聞記事
			Magazineplus	MagPlus	全分野
		英	British National Corpus	BNC	コーパス
	Wordbanks Online		Wordbanks	コーパス	
	国外	英	Linguistics and Language Behavior Abstracts	LLBA	言語学
			Translation Studies Bibliography	TSB	翻訳学
			Handbook of Translation Studies Online	HTS	翻訳
		中	CNKI	CNKI	全分野
		人民日報*	人民日報	新聞記事	
		その他	NewspaperDirect Library PressDisplay	NDLPD	新聞記事

Fuente Academica Premier*及び人民日報*は2013年度より提供開始

利用統計	(単位：検索回数)											
	CiNii A	ASP	JSTOR	CNKI	LLBA	MLA	Lion	JK	EB	OED	ODNB	MPE PIL
2010年度	20,220	4,527	770	—	333	393	—	2,349	338	669	183	—
2011年度	18,651	3,883	773	—	367	536	—	2,701	456	423	153	17
2012年度	16,955	4,576	1,918	1,577	732	881	718	2,013	555	1,569	81	105
2013年度	15,929	10,068	1,831	1,850	5,572	6,497	7,826	1,557	681	671	37	79
2014年度	17,780	11,895	1,690	1,367	6,924	8,271	29,529	3,518	363	272	81	1

オンライン資料

(単位：タイトル)

提供タイトル数

電子ブック 234

電子ジャーナル 45,928

※2014年度よりオープンアクセスも含む

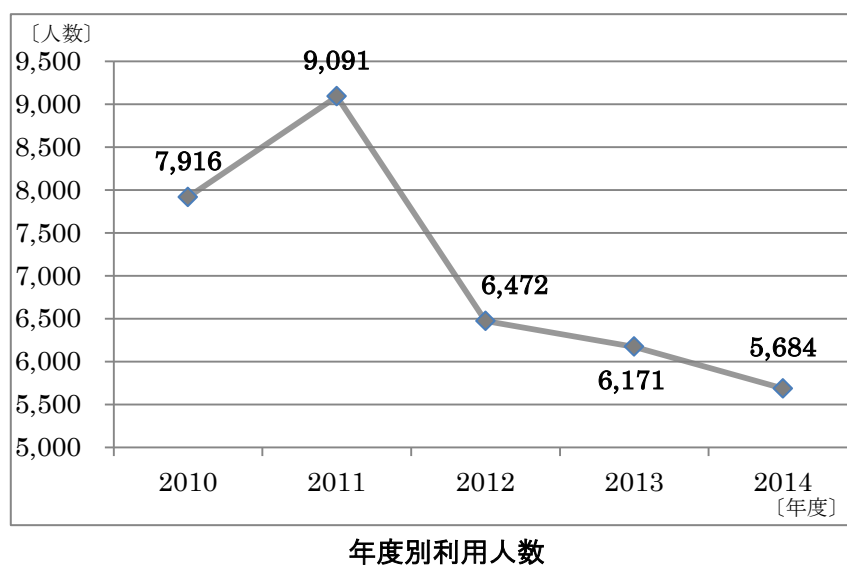
8) 視聴覚ブース利用状況

視聴覚ブース利用

(単位：点)

年度	ビデオ	LD	CD	DVD	衛星 放送他	持込	計
2010	209	441	49	6,571	163	483	7,916
2011	175	451	62	7,757	136	510	9,091
2012	179	368	34	5,293	108	490	6,472
2013	108	324	31	5,091	289	328	6,171
2014	73	296	42	4,851	175	247	5,684

※2009年度から図書館で提供開始。



4. 図書館サービス

1) ラーニングコモنزの設置

2014年4月に、図書館ロビーを改修し、ラーニングコモنزを開設した。ラーニングコモنزとは、直訳すると「学習のための共有スペース」という意味で、可動式の什器や情報機器などを備えた、学生同士の主体的・創造的な学びを促す学習空間である。図書館のラーニングコモنزが本学初の導入となる。

当館のラーニングコモنزは床面積 140 m²で、①グループワークエリア②PC エリア③くつろぎエリアの3つのエリアと、④アドバイザーデスクからなる。すべてのエリアは、白（机）、黄緑（椅子）・茶（床面）の三色を基調とし、従来の閲覧室と緑の多いキャンパスのいずれにも調和した、明るさと落ち着きを兼ね備えた空間となっている。

グループワークエリアでは、可動式の机と椅子、ホワイトボード、電子黒板（インタラクティブホワイトボード）を自由に組み合わせて、ディスカッションやプレゼンテーションが行える。PC エリアは、デスクトップ PC とプリンタを完備し、論文や課題の作成などに利用できる。くつろぎエリアは、庭をイメージした什器を揃え、リラックスした雰囲気資料の閲覧や休憩が可能なスペースとなっている。

また、施設の改修と合わせて、一般誌の提供や文房具の貸出といった新たなサービスを開始した。さらに、10月には無線 LAN の提供やノート PC の貸出、ラーニングアドバイザーの配置が始まり（「ii.ラーニングアドバイザーの配置」参照）、学習環境の一層の改善が図られた。

ラーニングコモنزの開設により、図書館は一人で学習する静謐な空間と、複数の人間がコミュニケーションを取りながら学びあう場の二つの学習空間が併存し、多様な学習スタイルを支援する施設となった。

開設初年度は、学生主体のイベントや授業にもラーニングコモنزが活用された。イベントでは、発表会やワークショップ、写真展・ポスター発表が行われ、授業では、ディスカッションやプレゼンテーションを伴う授業（日本語プログラム・ゼミ）で利用された。



グループワークエリア



PC エリア



くつろぎエリア

施設構成

区分	設備	貸出用機器
①グループワークエリア	テーブル:10台 昇降式テーブル:1台 チェア:25脚 電子黒板:1台 パーテーション型ホワイトボード:5台 イーゼル型ホワイトボード:3台 投影対応ホワイトボード:1台	ノート PC:10台 ^{*1} 短焦点プロジェクター:1台 マイク(有線) ^{*2} :2本 スピーカー ^{*2} :1台 Lightning コネクタアダプタ:1個 *1 2014年10月より *2 PC 接続型
②PC エリア	座席 12 席 デスクトップパソコン 12 台 プリンタ 2 台	
③くつろぎエリア	テーブル:2台 チェア:2脚 ソファ:2脚 ベンチ:2台	
④アドバイザーデスク	V字型デスク:1台 デスクワゴン:1台 LA用チェア:1脚 相談者用チェア:1脚	

施設および機器類利用回数

	図書館・LA			授業			イベント			グループワーク		
	LC	IWB	PC	LC	IWB	PC	LC	IWB	PC	LC	IWB	PC
2014年4月	8	15		2	2		1	1		1	1	
2014年5月	11	13		6	1		3	3		2	1	
2014年6月	5	5		5	3		5	4		4	3	
2014年7月	3	3		1	1		0	0		5	5	
2014年8月	0	0		0	0		0	0		0	0	
2014年9月	0	0		0	0		1	1		0	0	
2014年10月	2	2	26	4	4	3	1	1	1	11	2	16
2014年11月	1	1	24	5	5	5	1	1	1	12	6	19
2014年12月	0	0	15	4	4	4	1	1	1	0	1	8
2015年1月	0	0	20	3	1	6	3	2	2	12	3	12
2015年2月	0	0	6	0	0	0	1	0	0	1	1	1
2015年3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	30	39	91	30	21	18	17	14	5	48	23	56
合計										125	97	170

LC：予約または機器類の利用を伴うグループワーク・イベント等による利用回数

IWB：電子黒板（インタラクティブホワイトボード）の利用回数

PC：貸出ノート PC の利用台数（2014年10月～） ※図書館の PC 利用は LA による

PC 個人利用者数

2014 年		2015 年				計
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
19	37	105	92	24	14	291

主なイベント

開催月	種別	イベント名（主催者）
2014 年 5 月	発表会	内閣府青年国際交流事業参加報告会（国際交流センター）
	発表会	日本語スピーチ発表会（日本語プログラム）
2014 年 6 月	ワークショップ	MCJ DAY（Marketing Competition Japan）
	発表会	子どもの障がいに関する知識を共有するセミナー（ボランティアコーナー）
	発表会	日本語スピーチ発表会 2 回（日本語プログラム）
2014 年 7 月	ワークショップ	日本語多読会（日本語プログラム）
2014 年 12 月	展示会	カンボジア写真展（国際協力団体 Kumae）
2015 年 1 月	展示会	アジア・アフリカを語る会ポスター展示（アジア・アフリカを語る会）
	発表会	アジア・アフリカを語る会トークイベント（アジア・アフリカを語る会）
2015 年 2 月	展示会	「教育原理」ポスター展示（杉山精一准教授）



発表会



ワークショップ



ポスター展示

2) ラーニングアドバイザーの配置

2014 年 10 月よりラーニングコモンズ内のアドバイザーデスクに、大学院生のラーニングアドバイザー（略称 ^{エルエー} L A）を配置し、学習支援サービスを開始した。2014 年度後期は 3 名の大学院生が採用され、アドバイザーデスクでの学習相談対応（一人当たり週 3 時間）や推薦図書展示、パスファインダー（資料の探し方ガイド）の作成などの学習支援活動を行った。

2014 年度後期ラーニングアドバイザー（3 名）

外国語学研究科博士課程文化交流専攻 2 年

外国語学研究科修士課程イスパニア語学専攻 2 年

外国語学研究科修士課程英語学専攻 1 年

アドバイザーデスク利用者数

	ライティング支援	学習支援	情報検索支援	ITサポート	その他
2014年10月	0	3	1	2	10
2014年11月	3	7	1	2	4
2014年12月	3	2	0	0	2
2015年1月	1	3	0	0	16
2015年2月	0	2	0	0	5
小計	7	17	2	4	37
合計					67

その他の活動

- ・資料展示「LAのおすすめ」(2014年10月～2015年2月) ※「3) イベント・企画・展示等 iii. 展示」参照
- ・センターだより原稿執筆(2014年12月15日発行)
- ・パスファインダー「LAが教える！」3点発行

テーマ:「沖縄」を調べる

スペイン語で資料を探す

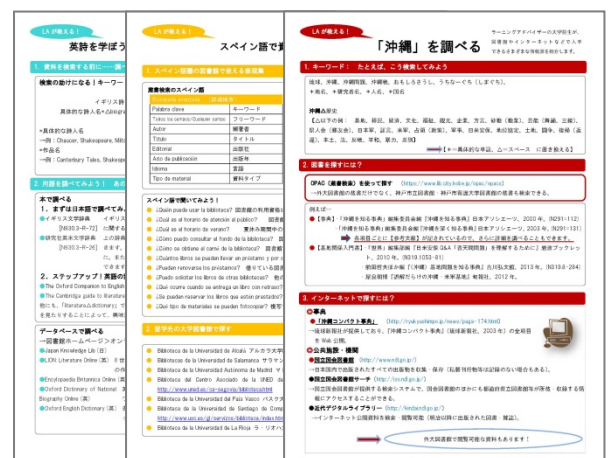
英詩を学ぼう! そう, 神戸外大で



アドバイザーデスク



展示「LAのおすすめ」



パスファインダー(資料の探し方ガイド)

3) 利用者教育

i. 初年次教育

4月～5月の6日間に, 初年次教育を実施した。

日程の詳細は下表の通り。情報メディア班の学内 LAN コンピュータ利用案内と合同で行い, 45分ずつとした。また, 参加者数は5割を超え, 昨年度の2割と比較すると, 大きく増加できたと言える。

【実施内容】

- ・ 図書の上手な探し方
蔵書検索の方法を具体的な例を挙げて説明
- ・ インターネットからの予約
貸出中の図書の予約, 返却期限延長の方法を説明
- ・ 図書館にないときの入手方法
購入希望制度, 他図書館からの取り寄せについて紹介
- ・ レポートに使えるデータベース
JapanKnowledge+(百科事典), 聞蔵IIビジュアル / 日経テレコン21(新聞記事検索), CiNii Articles(論文検索)など
レポート作成に利用できるデータベースを紹介
- ・ 検索演習

実施日時	
4月 9日 (水)	3限
〃	4限
4月 16日 (水)	5限
4月 24日 (木)	6限
4月 30日 (水)	3限
〃	4限
5月 10日 (土)	2限
5月 17日 (土)	4限

【参加実績】

	参加者数	学生数	参加率
英米学科	120	151	79.5
ロシア学科	9	47	19.1
中国学科	11	57	19.3
イスパニア学科	9	42	21.4
国際関係学科	52	85	61.2
II部英米学科	46	104	44.2
その他（科目等履修生）	1	-	-
合計	248	486	51.0

ii.ゼミ対象図書館ガイダンスの実施

2009年から本格実施している、ゼミを対象としたガイダンスも6年目となった。今年度も、ゼミのテーマに沿った検索実習と書庫見学(任意)からなる情報探索指導を実施した。32名の教員より申し込みがあり、37コマのガイダンスを行った。

2014年度は、プレゼンテーションに適したラーニングコモンズを演習会場とした(一部は第二閲覧室で実施)。また、電子黒板を取り入れるなど指導方法の改善を図った。

年度	教員数	実施回数	学生数
2009	23	29	261
2010	24	28	225
2011	25	30	247
2012	27	31	217
2013	38	43	283
2014	32	37	228



検索実習



書庫見学

4) イベント・企画・展示等

i.選書ツアー・ミニビブリオバトル

11月5日、三宮センター街にあるジュンク堂書店で第4回選書ツアーを実施した。7名の応募があり、そのうち5名が参加した。購入した図書は76冊（138,289円）。選定された図書の内容は、例年通り、美術書や文学ものが多勢を占めるものの、これまでにない趣向の小説やインテリア関係の書物も見受けられ幅広い分野が選書された。実施後に行ったアンケート結果からは、また参加したいかを尋ねる設問に全員が「参加したい」と回答する等今年度も好評だったことが読みとれた。

2014年12月から2015年3月の間、館内にコーナーを設けて選定図書の展示・貸出を行った。また、12月10日には参加者が集まり、展示用のPOPを作成しつつ、学術情報センター長との懇談会を催した。

応募・参加者数

学科	英米	ロシア	中国	イスパニア	国際関係	II部英米	合計
応募数	3	1	0	0	0	3	7
参加者数	2	1	0	0	0	2	5

同日、選書ツアー参加者によるミニビブリオバトル*を開催した。

開催日	会場	参加者数 (発表者数)	チャンプ本
12月10日(水)	センター長室	4(2)	綾辻行人著『綾辻行人殺人事件：主たちの館』(講談社, 2013.4)

*ビブリオバトルは、全国で広まっている新しい形式の読書会。公式ルールは、発表者が順番に一人5分間その本の魅力について紹介し、各2～3分のディスカッションを経て、参加者全員による投票を行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

ii.Re ユース

本年度も Re ユースを実施した。3年目となる。これは学習・研究支援を目的として、図書館所蔵本等のうち重複や改版などの理由で廃棄予定となった資料を、図書館利用者（学生、教職員、卒業生対象。市民利用者は除く）に無償で譲渡するものである。具体的には Re ユースコーナーを図書館ラーニングコモンズに設け、自由に持ち帰っていただいた。好評につき、4月、7月、1月の3回実施することとなった。

また今年度は、一般図書として受け入れていた語学雑誌の古いものを Re ユース資料として提供した。もともと貸出頻度の高い雑誌であったため、大変好評であった。実施概要は下記のとおり。

	第1回 2014年4月～5月	第2回 2014年7月～8月	第3回 2015年1月～2月	合計
用意した冊数	785	368	276	1429
Re ユース冊数	557	117	54	728
残冊数	228	251	222	701
Re ユース率	約71%	約32%	約20%	約51%

※第2・3回については、第1・2回時に用意した資料の残りを繰越提供している。そのため、実際に用意した最終的な冊数は1,162冊であり、残冊数は434冊である。その場合の Re ユース率は約63%となる。

iii. 展示

所蔵資料の展示として、①企画展示（閲覧室入口正面）および②テーマ展示「司書のおすすめ D (Display)」(カウンター前)を行った。

種別	期間	テーマ	
① 企画展示	2014年4～6月	「追悼ガブリエル・ガルシア=マルケス氏」	
	2014年6～7月	ジェラルド・ヴィゼナー氏講演会関連資料	
	2014年7月	講演会「ゴンサロ・ヒメネス・デ・ラ・エスパダ:日本とスペインの架け橋として」関連資料	
	2014年10月	平尾隆弘氏講演会「芥川・直木賞と文藝春秋」関連資料	
	2014年10月	講演会「La gramática como forma de mirar」「¿Cómo suena el español?」関連資料	
	2014年10月	市民講座「漢字の国のレトリック」関連資料	
	2014年10月～2015年2月	LA(ラーニングアドバイザー)のおすすめ ・ 沖縄と基地 ・ 小川洋子の世界を巡りましょう! ¡Exploremos el mundo de Yoko Ogawa! ・ 英詩に触れてみよう!	
	2014年12月～2015年3月	第4回選書ツアー	
	② テーマ展示 「司書のおすすめ D(Display)」	第24回 2014年4～5月	英米学科：英語を磨く！
			ロシア学科：ロシア語を磨く！
中国学科：中国語を磨く！			
イスパニア学科：スペイン語を磨く！			
第25回 2014年6～7月		英米学科：映画でシェイクスピア	
		ロシア学科：揺れるウクライナーロシアの隣国についてー	
		中国学科：一人っ子政策緩和 ～計画生育から単独二孩へ	
		イスパニア学科：サッカーから見るスペイン語圏	
		国際関係学科：タイ王国 ～微笑みの国のクーデター～	
第26回 2014年10～11月		英米学科：文法・語法ブラッシュアップ	
	ロシア学科：教会とイコン芸術		
	中国学科：鄧小平 ～生誕110周年～		
	イスパニア学科：ラテンアメリカを味わう 「世界を変えた」野菜を中心に		
	国際関係学科：自然災害と復興		
第27回 2014年12月～ 2015年3月	英米学科：多民族国家アメリカ		
	ロシア学科：カンディンスキー没後70年-抽象画の創始者-		
	中国学科：二つの故宮 ～北京と臺北～		
	イスパニア学科：スペイン語で書く！		
	国際関係学科：ベルリンの壁 —1961/8/13～1989/11/9—		



講演会関連資料



司書のおすすめ



選書ツアー

5) 広報活動

i. 館報

センターだより「AD ALTIORA SEMPER」第40号, 第41号を発行した。各号の内容は以下のとおり。



第40号 (2014年6月30日発行)

- ・人にはどれ程の本が必要か? (太田齋教授・学術情報センター長)
- ・書庫3階集密書架改修工事終了について
- ・初年次教育 図書館の使い方
- ・新しい学びの空間 「ラーニングコモンズ」ができました
- ・協働学習, そして国際交流に最適な空間 (柴田あづさ講師)
- ・蔵書検索システムのリニューアルについて
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始について
- ・図書館日誌



第41号 (2014年12月15日発行)

- ・第1回「ヨシイクゾウ」賞を辞退するに至った経緯についての簡単な報告 (村田邦夫教授)
- ・夏の蔵書点検 書庫2階ロシア語書架展開完了報告
- ・著書紹介 El español y el japonés (福嶋教隆教授)
- ・ラーニングアドバイザーに相談してみませんか? 大学院生による学習支援活動がはじまりました
- ・学外から一部のデータベースにアクセスできるようになりました
- ・図書館の学習支援 ノートパソコンの貸出を開始しました
- ・秋の図書館イベント 第4回選書ツアーを開催しました
- ・“図書館 Facebook” はじめました
- ・図書館日誌

ii. Newsletter

より身近で速報性の高い広報媒体として図書館からのお知らせを中心とする『外大図書館 Newsletter』を昨年度に引き続き4号発行した。各号については以下のとおり。

- ・No.9 新入生歓迎号 (2014年4月7日発行)
- ・No.10 SUMMER (2014年7月15日発行)
- ・No.11 AUTUMN (2014年11月4日発行)
- ・No.12 WINTER (2015年1月30日発行)



iii. Facebook

9月1日から、よりきめ細やかな情報を、よりスピーディーに提供するため「神戸市外国語大学学術情報センター(図書館)Facebook ページ」の試行運用を開始した。図書館からのお知らせのほか、イベント情報、おすすめ資料、サービス紹介などの記事を配信した。

6) 情報環境の整備

i. OPAC のリニューアル

6月2日に館内 OPAC, 6月4日に WebOPAC のリニューアルを行った。検索画面のレイアウトが変更され、Web 上から ILL (文献複写・相互貸借) の申込み・申込み状況の確認が可能となった。



Before(旧 OPAC)

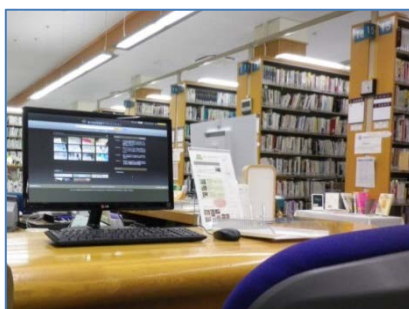


After(新 OPAC)

ii. 国立国会図書館デジタル化送信サービス

6月2日から、国立国会図書館が電子化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料約 131 万点を閲覧・複写できる専用端末をカウンター上に設置した。利用対象は本学学生、院生、教職員、名誉教授となり、卒業生や一般利用者は含まない。

詳細は、参考 4) 神戸市外国語大学学術情報センター-国立国会図書館送信資料利用要項を参照。



カウンター上の専用端末

iii. 貸出ノート PC の設置

10月6日からノート PC の貸出を開始した。事務室内にノート PC10 台を同時に充電できる専用キャビネットを設置し、貸出時にはノート PC 本体・マウスのみを提供する。利用対象は本学学生、院生、教職員、ラーニングアドバイザーである。メンテナンスのため、館内整理日に本体及び付属品の入れ換えを行う。



専用キャビネット内の様子

iv.学認への参加 無線 LAN 整備

学術認証フェデレーションへの参加により、9月1日から一部のデータベースに学外からアクセスできるようになった。対象となるデータベースは以下の通り。

- ・ Cambridge Books Online, Cambridge Journals Online (CUP)
- ・ CiNii Articles (NII)
- ・ Gale Virtual Reference Library (Cengage Learning)
- ・ EBSCO host

また、国際学術無線 LAN ローミング基盤「eduroam」も利用できるようになり、図書館内ではラーニングコモンズ、第二閲覧室(1F, 2F)で接続可能となった。

※学術認証フェデレーションとは、学術 e-リソースを利用する大学・提供する組織が認証連携することにより、シングルサインオン(1つの ID・パスワードで複数のシステムを利用できること)を実現する事業。

7) 図書データ遡及の実施

2014年4月から11月にかけて、書庫1階～3階に配架している、文庫類や旧分類(六甲学舎時代からの蔵書)を主とした図書資料について、書誌・所蔵情報の遡及入力事業を行った。委託事業とし、受注先から派遣された3名が、当館内にて実作業に当たった。

結果、新たに計約8,000冊について、NACSIS-CATに所蔵を登録し、本学図書館のローカルデータベースに書誌・所蔵情報を登録することができた。なお、NACSIS-CAT上で書誌がノーヒットだった約990冊については、当館の司書職員がNACSIS-CAT上で書誌を新規作成した上で、実作業員3名が所蔵登録とローカルデータベースへの書誌・所蔵情報の登録を行った。

5. 機関リポジトリ

本学の学術情報リポジトリは2013年4月1日より正式運用を開始した。
コンテンツ数およびアクセス数については以下のとおり。

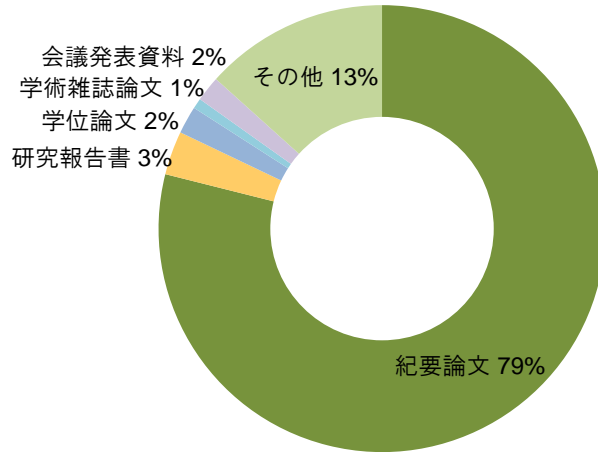
1) コンテンツ種別内訳

2014年度末現在

(単位：点)

	メタデータ	本文あり
紀要論文	947	595
研究報告書	38	20
学位論文	24	14
学術雑誌論文	9	9
会議発表資料	22	19
その他*	160	160
合計	1,200	817

その他*：紀要の表紙など

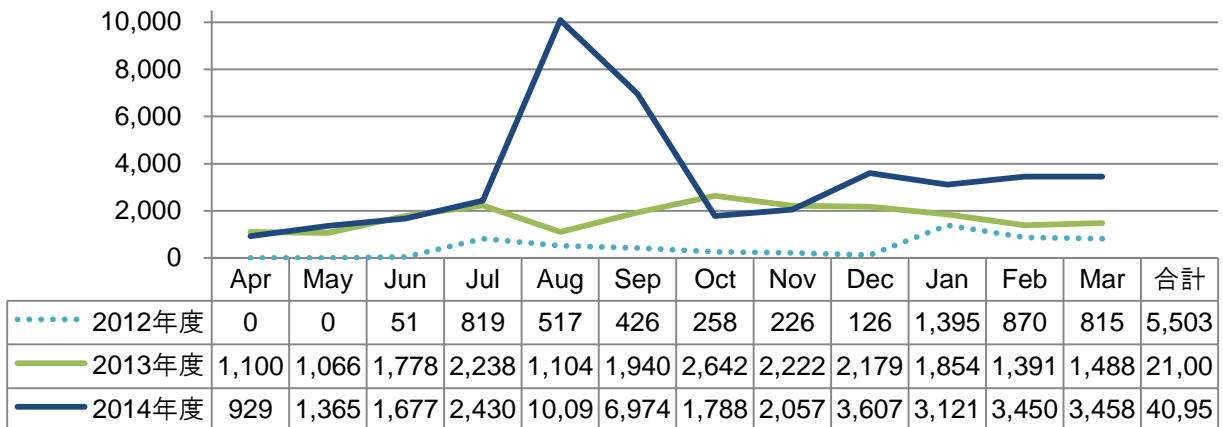


2) アクセス統計

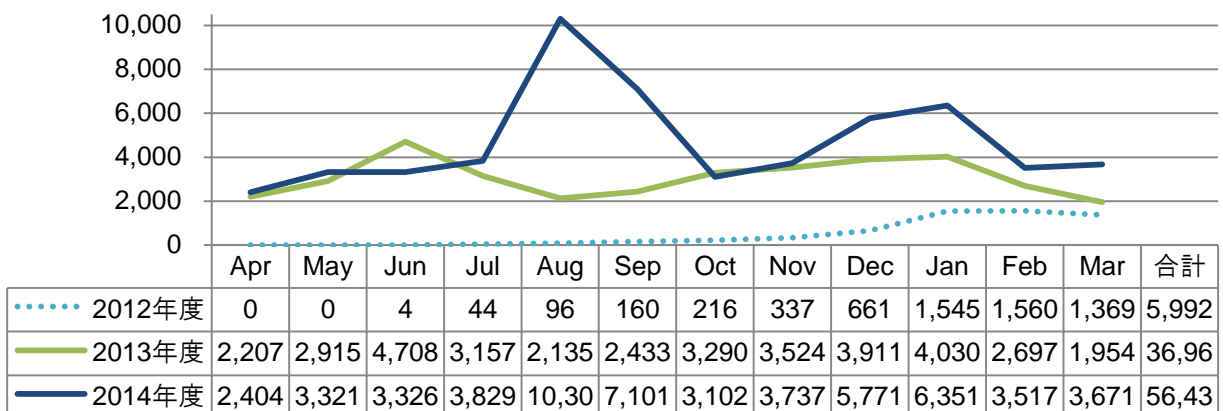
閲覧回数 40,951

ダウンロード回数 56,438

閲覧回数



ダウンロード数



6. 地域貢献

1) 市民利用制度実施状況

i. 制度の概要

図書館の利用を通じて市民の生涯学習に貢献するために、2007年12月より実施している。

授業期間中の土曜日、授業のない時期は平日に市民利用を行っている。18歳以上、市在住・在勤であれば年間500円の登録料で閲覧・複写・貸出（5冊・2週間）が利用可能である。

ii. 利用可能日の拡充

地域貢献をさらにすすめるため、通常は利用できない授業期の平日のうち、期間を決めて試行的に市民の利用ができるようにした。

2014年度は、2013年度に引き続き9月から12月の平日を利用可能日とした。今後、学術情報部会でさらに拡充についての検討をすすめていく。

iii. 利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
2011年度	110	176	1,958	2,690
2012年度	116	179	2,460	3,307
2013年度	115	220	2,592	4,104
2014年度	152	202	2,938	4,420

年代別登録状況

(単位：人)

年代別	18～	20代	30代	40代	50代	60代～	計
2011年度	1	30	25	35	27	58	176
2012年度	0	15	28	37	39	60	179
2013年度	0	32	36	40	38	74	220
2014年度	0	12	28	31	35	96	202

居住地別登録状況

(単位：人)

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	市外	計
2011年度	5	3	5	2	6	4	25	61	59	6	176
2012年度	3	1	4	3	0	3	28	49	82	6	179
2013年度	6	3	9	4	9	10	35	52	85	7	220
2014年度	5	2	7	2	5	3	29	55	93	1	202

2) トライやる・ウィークの受入れ

兵庫県内中学2年生の職場体験である「トライやる・ウィーク」の学生の受入を行った。本学での5日間の体験期間のうち、2日間を図書館で体験してもらった。

内容としては、カウンター業務をはじめ、図書の整理、排架、検索、リスト作成などの図書館業務全般。

	期間	人数
長坂中学校	11/11(火)～11/12(水)	2
多聞東中学校	11/11(火)～11/12(水)	2
太山寺中学校	12/9(火)～12/10(水)	4
	合計	8

3) まちづくりスポット神戸 図書館見学会「図書館ツアー」受入

「まちづくりスポット神戸」主催のキャンパスツアー・大学図書館見学会が2月13日(金)に実施され、地域の方20人が参加した。

書庫を中心に見学し、センター長室で貴重書の紹介を行った。また、市民利用制度について案内し、一般の利用が可能な制度のあることを説明した。



書庫内見学風景

7. 学術情報部会

・学術情報部会は、学術情報センターに関する、以下の事項について審議する。

- (1) 資料の選択・収集・保存に関する事項
- (2) 情報発信・機関リポジトリに関する事項
- (3) 利用サービスの向上に関する事項
- (4) 地域貢献・市民開放に関する事項

1) 2014 年度委員

部会長	太田 齋	学術情報センター長
委員	星野 徳子	准教授 英米学科
委員	清水 俊行	教授 ロシア学科
委員	任 鷹	教授 中国学科
委員	J.ロメロ・ディアス	講師 イスパニア学科
委員	丹生谷貴志	教授 国際関係学科
委員	友田 康信	准教授 法経商
委員	芝 勝徳	教授 総合文化
委員	喜多 泰志	学術情報センターグループ長

2) 開催記録

第1回 2014年5月21日(水) 13:30~14:30

- 1) 2013年度図書館活動報告
 - 2) 2014年度活動計画について
 - 3) ラーニングアドバイザーについて
 - 4) 第2学舎増築等の実施設計における検討事項
 - 5) 初年次教育実施報告
- [その他] 学科別視聴覚資料の選定について

第2回 2014年10月15日(水) 13:30~14:30

- 1) 卒論の保存方法の変更検討—電子化による保存
- 2) 個人研究費等で購入した研究用図書退職時譲渡について
- 3) 2015年度初年次教育実施計画案について

第3回 2015年1月28日(水) 13:30~14:30

- 1) 2015年度開館時間の見直しについて
- 2) 購入外国雑誌の見直しについて—利用状況調査の実施
- 3) 卒論の電子化による保存—教務委員会での審議経過等
- 4) 2014年度自己点検評価・2015年度年度計画について

8. 経費

1) 予算の推移

(千円)

	2011	2012	2013	2014	2015
図書館資料費 (雑誌・データベース含む)	32,207	32,207	32,207	33,129	33,129
視聴覚資料費	1,238	1,238	1,238	1,274	1,274
教員研究図書	16,654	16,294	16,294	13,094	13,093
図書館運営費	1,000	1,000	1,000	1,250	1,270
電算機運営	32,800	23,400	23,200	22,393	22,054
リフト保守	208	189	189	195	195
入退館システム	1,890	--	--	--	--
小計	85,997	74,328	74,128	71,335	71,015
リポジトリ運営	0	2,697	100	2014より運営 費に含まれる	--
データ整備	0	5,250	5,000	5,000	5,000
小計	0	7,947	5,100	5,000	5,000
合計	85,997	82,275	79,228	76,335	76,015

2) 2014 年度決算

経常

図書館資料費	(千円)
執行額	
一般図書	7,328
雑誌	17,149
視聴覚資料	1,287
電子ジャーナル	5,251
電子書籍	905
データベース	2,483
合計	34,403

図書館運営費	(千円)
執行額	
図書館運営*	1,069
電算機運営	22,126
リフト保守委託料	194
合計	23,389

*リポジトリ運営含む

教員研究図書

教員研究図書	(千円)
執行額	
専用図書	8,562
合計	8,562

臨時

執行額	
図書データ整備	2,657
閲覧室書架固定	648
貴重書保存庫整備	473
合計	3,778

9. 研修・学外会議記録

1) 研修等参加記録

日程	研修, 会議	主催	会場
6/26~27	平成 26 年度大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」	大学図書館近畿イニシアティブ	大阪市立大学
6/30~7/11	平成 26 年度大学図書館職員長期研修	筑波大学	筑波大学
7/1	第 10 回学術ソリューションセミナー「学術情報の現在・過去・未来」	ナレッジキャピタルコンベンションセンター (大阪)	(株) サンメディア
7/8	富士通 大学図書館ソリューションセミナー	富士通株式会社文教ソリューション推進部	富士通 関西システムラボラトリ
7/30	LIMEDIO Seminar 2014「デジタル時代の大学図書館」	リコー LIMEDIO	スイスホテル南海大阪
8/20~22	目録システム地域講習会 (図書コース)	国立情報学研究所	大阪市立大学
9/10~11	大学図書館コンソーシアム連合版元説明会	一橋大学	大学図書館コンソーシアム連合
9/11~12	JAIRO Cloud 講習会	国立情報学研究所	京都橘大学
10/24	平成 26 年度兵庫県大学図書館協議会 研修会「ラーニング・コモンズと学修支援」	兵庫県大学図書館協議会	関西学院大学
11/6~7	第 16 回図書館総合展・学術情報オープンサミット 2014	図書館総合展運営委員会	パシフィコ横浜
11/7	平成 26 年度資料保存研修	国立国会図書館	国立国会図書館関西館
12/12	平成 26 年度兵庫県大学図書館協議会研究会「機関リポジトリと著作権」	兵庫県大学図書館協議会	兵庫県立大学神戸商科キャンパス
1/28	平成 26 年度国立大学図書館協会シンポジウム「学生の学習活動を促すもの」	国立大学図書館協議会	名古屋大学
2/19	英語による対応コミュニケーション研修	職員研修所 (神戸市)	職員研修所 (神戸市)
2/19	第 11 回レファレンス共同データベース事業フォーラム「つながる図書館の情報サービス」	国立国会図書館	国立国会図書館関西館
2/27	機関リポジトリ新任担当者研修	連携・協力推進会議機関リポジトリ推進委員会	岡山大学

2) 講師派遣

日程	派遣内容	主催	会場
8/20~22	目録システム地域講習会(図書コース)	国立情報学研究所	大阪市立大学

3) 学外会議等参加記録

兵庫県大学図書館協議会

7/25 第 113 回総会 (兵庫県立大学神戸商科キャンパス)

公立大学図書館協議会

6/5 第 24 回事務長会・第 1 回拡大役員会 (ローズホテル横浜)

6/6 第 46 回総会 (ローズホテル横浜)

公立大学図書館協議会近畿地区協議会

2/17 総会 (奈良県立大学.)

講演会「コンテンツとツーリズムと図書館と…」(奈良県立大学)

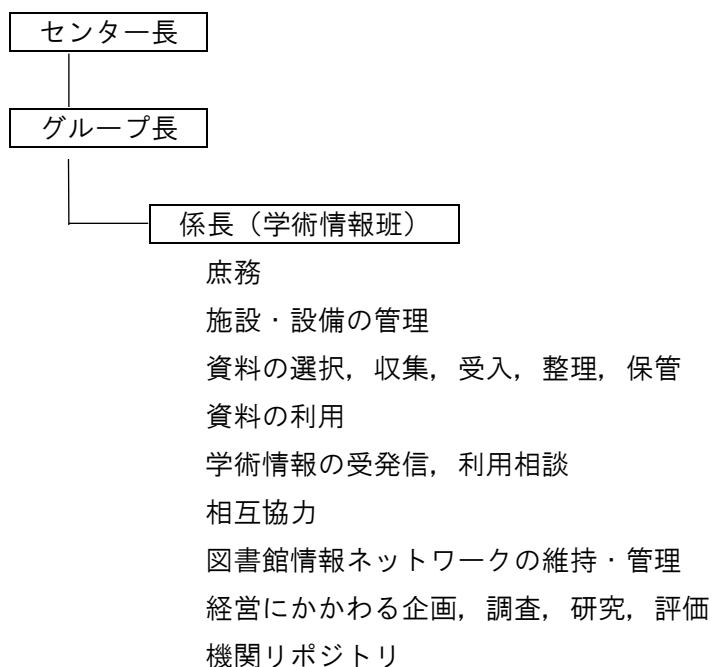
神戸研究学園都市大学交流推進協議会・図書館部会

7/10 第 36 回会議 (UNITY)

10. 組織・施設情報

1) 組織・事務分掌 2014年4月1日現在

2014年度組織改正により学術情報センターグループは学術情報班のみとなる。



雇用形態別職員数の推移 5月1日現在 ()内は司書有資格者で内数

	学術情報班					情報メディア班					合計
	市派遣	固有	契約	人材派遣	小計	市派遣	固有	契約	人材派遣	小計	
2009年度	7(6)	0	5(4)	0	12(10)	2(1)	0	3(1)	1	6(2)	18(12)
2010年度	6(5)	0	5(4)	1(1)	12(10)	2(1)	0	3(1)	1	6(2)	18(12)
2011年度	6(5)	2(2)	4(2)	0	12(9)	2(1)	1(1)	1	2	6(2)	18(11)
2012年度	6(5)	2(2)	4(2)	0	12(9)	2(1)	1(1)	0	3	6(2)	18(11)
2013年度	6(5)	2(2)	1(0)	3(3)	12(10)	2(1)	1(1)	0	3	6(2)	18(12)
2014年度	6(5)	2(2)	1(0)	3(3)	12(10)	--	--	--	--	--	12(10)

2) 蔵書・コレクション

特別文庫

① アフロ・アメリカ黒人文庫

1976年に「黒人研究会」の発起人のひとりであった故貫名美隆名誉教授の蔵書の一部が図書館に寄贈されたのを機に開設された。

文庫の特徴は、当初はアフリカ、アメリカの黒人文学書を中心にし、歴史、社会、経済に関する資料が多かったが、後には先住アメリカインディアン、日系を含むアジア系アメリカ人、カリブ周辺の住民に関する図書にまで収集が広がった。

1900年代初頭に黒人と白人の共存を主張した「有色人地位向上全国協会」の機関紙のバックナンバー47冊、黒人奴隷について州ごとの調査結果を示した『ジ・アメリカンスレイブ』全19巻などが特筆すべきコレクションとしてあげることができる。

文庫は和書1,000冊、洋書2,000冊で構成されている。

② エスペラント文庫

エスペラント文庫が本学図書館に設置された経緯は定かでない。本学カリキュラムに研究語学のひとつとしてエスペラント語が正式科目として位置づけられていたこと、エスペラント図書を多数著された故貫名美隆名誉教授の力があってのことと推測されている。

文庫にはエスペラント語の考案者でもあるザメンホフ博士が翻訳したシェークスピア『ハムレット』、シラー『群盗』など稀覯本に値するものも含まれている。

図書館刊行の目録には約1,500冊が収録されている。

寄贈による文庫

① 金田文庫：初代学長、金田近二氏寄贈

戦前の日本の植民地政策研究、移民政策研究、インド・東南アジア・中国を中心とする地域研究関係図書

② 中村文庫：中村賢二郎氏寄贈

商業英語、外国貿易実務関係図書

③ 打田文庫：打田稔氏寄贈

現代中国語図書、漢籍など

④ 団文庫：団忠夫氏寄贈

ラテンアメリカ関係のスペイン語図書

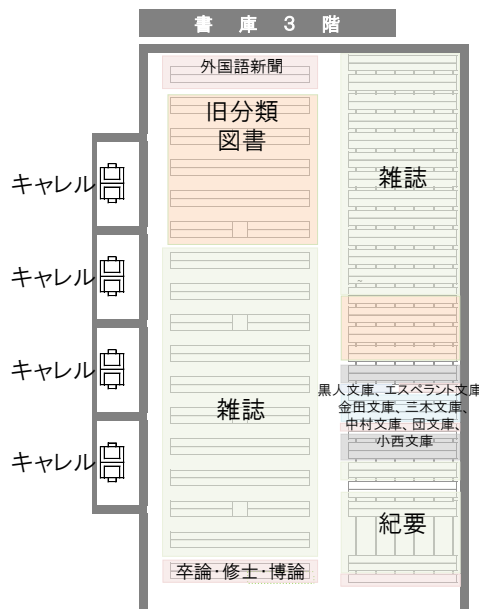
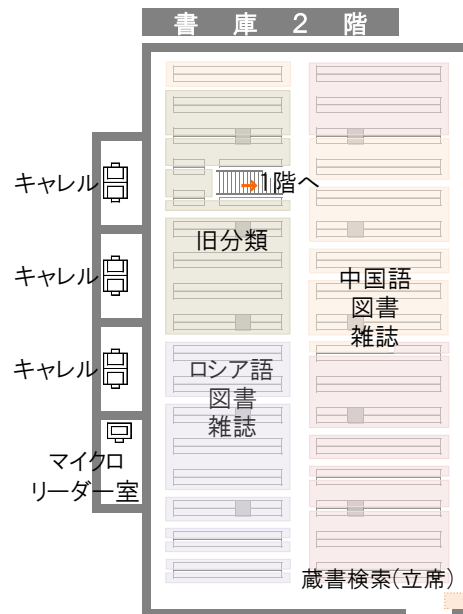
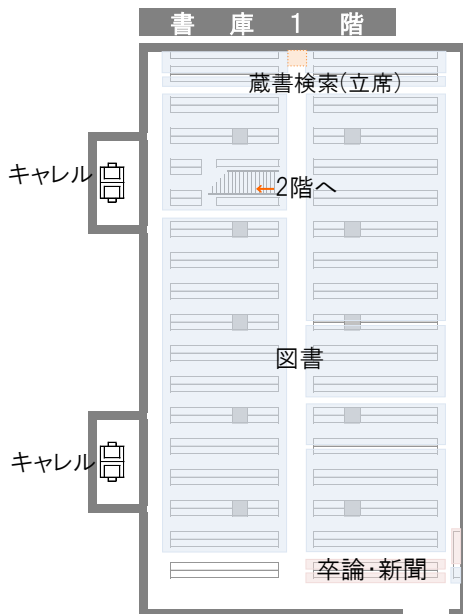
⑤ 三木記念文庫：財団法人三木記念会寄贈

オーストラリア・マレーシア・インドネシア諸国を中心とした太平洋文化圏研究に関する図書

⑥ 小西文庫：小西比左江、沼波美津子両氏寄贈

小西友七氏所蔵の英語学、語法研究、辞書編纂に関する図書

3) 図書館施設・設備



占有延床面積：3,300 m²

閲覧席 290 席

閲覧室： 108 席

第 2 閲覧室： 72 席(1F)、92 席(2F)

キャレル： 18 席

視聴覚ブース：18 席(2 人席：4 5 人席：2)

書庫内キャレル：2 人席×9 室

蔵書検索(OPAC)端末：9 台

データベース専用端末：4 台

学内 LAN 専用マシン：

デスクトップ PC：12 台(ラーニング・commons)

ノート PC：32 台(第二閲覧室)

4) 関係諸規程

公立大学法人神戸市外国語大学学術情報センター規程

2007年4月1日

規程第103号

(趣旨)

第1条 この規程は、公立大学法人神戸市外国語大学組織規程(2007年規程第1号)に基づき、神戸市外国語大学学術情報センター(以下「学術情報センター」という。)について、基本的事項を定める。

(目的)

第2条 学術情報センターは、本学に必要な学術情報メディアと関連環境を整備し、本学構成員に提供することにより、本学における教育・研究を支援するとともに、地域の教育・文化の向上に貢献することを目的とする。

(施設)

第3条 学術情報センターに図書館を置く。

(組織及び運営)

第4条 学術情報センターに学術情報センター長を置く。学術情報センター長は、学術情報センターの事務を掌理し職員を指揮監督する。

2 学術情報センター長の選考に関する規程は、別に定める。

第5条 学術情報センターに関する重要事項は学術情報部会で審議する。

(利用)

第6条 学術情報センターの利用に関する規程は、別に定める。

(受贈・受託資料)

第7条 学術情報センターは、資料の寄贈を受け、または資料を受託することができる。

附 則

1 この規程は、2007年4月1日から施行する。

2 神戸市外国語大学図書館規程(2007年4月規程第43号)は、廃止する。

附 則

この規程は、2010年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

公立大学法人神戸市外国語大学図書管理規程

2007年4月1日

規程第100号

(目的)

第1条 この規程は、公立大学法人神戸市外国語大学固定資産管理規程第2条第2項の規定に基づき、公立大学法人神戸市外国語大学における図書の適正な管理その他必要な事項を定めるものとする。

(図書の定義)

第2条 この規程における図書とは、印刷その他の方法により複製した文書または図画、もしくは電子的方法、磁気的方法その他の方法により文字、映像又は音を記録した物品として管理が可能なもので、教育又は研究の用に供するもの（使用予定期間が1年未満のものを除く。）をいう。

(管理責任者)

第3条 図書の管理責任者（以下「図書管理責任者」という。）は、学術情報センター長とする。

(取得)

第4条 図書を取得した場合は、図書管理責任者は、速やかに受入手続を行わなければならない。

(取得価額)

第5条 図書の取得価額は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 購入した図書は、購入代価及び付随費用
- (2) 寄附により取得した図書は、定価又は同種の図書を参考とした見積額（見積りが困難な場合は、備忘価額）
- (3) 雑誌等を合冊製本して図書とする場合 原則として、当該雑誌等の購入代価及び合冊製本に要した経費
- (4) 製作による場合 その製作に要した経費

(寄贈)

第6条 図書の寄贈について受入れをする場合は、所定の手続を経なければならない。

(図書の管理事務)

第7条 図書管理責任者は、図書の増減及び現在高を明らかにするために図書原簿を作成し、保管しなければならない。

(受入)

第8条 図書の受入れをするときは、図書原簿に記録することにより登録番号を与え、図書にその登録番号を表示しなければならない。

(保管および管理責任)

第9条 図書管理責任者は、登録した図書について、所定の場所に保管し責任をもって管理しなければならない。ただし、貸出等により利用中の図書については、利用者が管理責任を負うものとする。又、教員専用図書については、当該教員が管理責任を負うものとする。

(点検)

第10条 図書管理責任者は、第8条の規定により登録した図書の管理について、定期的に点検を行うものとする。

(登録の抹消)

第11条 図書管理責任者は、資産として登録されている図書が次の各号のいずれかに該当する場合は、登録を抹消することができる。

- (1) 破損又は汚損がはなはだしく、補修不能な図書

- (2) 第10条に定める点検の結果、滅失したと認められた図書
- (3) 災害、盗難等により滅失した図書
- (4) 保存の必要がないと認められた図書
- (5) その他図書管理責任者が登録抹消を適当と認めた図書

(処分手続)

第12条 図書管理責任者は、登録を抹消する図書のうち現存するものについて廃棄、贈与又は売却のうちから取扱方法を決定する。

(財産管理者への報告)

第13条 図書管理責任者は、決算時等必要に応じ、図書の取得及び除却の状況等を含め、図書の保管状況を財産管理者に報告するものとする。

(その他)

第14条 この規程に定めるもののほか、図書の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、2007年4月1日から施行する。

公立大学法人神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程

2007年4月1日

規程第104号

(趣旨)

第1条 この規程は、公立大学法人神戸市外国語大学学術情報センター規程第6条に基づき、学術情報センターの図書、逐次刊行物、視聴覚資料その他の学術情報（以下「図書等」という。）の利用について必要な事項を定める。

(利用の対象となる図書等)

第2条 この規程により利用できる図書等は、学術情報センターで所蔵するものとする。

2 学術情報センター以外で所蔵する図書等の利用については学術情報センターが別に定める。

(利用者の範囲)

第3条 図書等を利用できる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 本学教職員
- (2) 本学大学院学生
- (3) 本学学生
- (4) 国内留学生
- (5) 本学客員研究員

2 前項に規定する者のほか、次に掲げる者は本学の利用に支障のない限り、学術情報センター長の許可を得て許可する範囲内で図書等を利用することができる。

- (1) 本学の卒業生
- (2) 図書館間相互協力貸借協定による者
- (3) 学術研究の目的をもって学術情報センターの利用を希望する大学等学術研究機関に所属する者
- (4) その他学術情報センター長の許可を得た者

(利用の方法)

第4条 図書等の利用の方法は、次の通りとする。

- (1) 館内利用
- (2) 帯出利用
- (3) 参考業務
- (4) 資料の複写
- (5) 資料相互利用
- (6) その他館内施設および機器等の利用

2 学術情報センター長は、必要があると認めるときは、前項の利用を制限し、又は禁止することができる。

(図書等を利用できる時間)

第5条 図書等を利用できる時間は、月曜日から金曜日までは午前8時40分から午後9時20分まで、土曜日は午前10時から午後6時までとする。ただし、春季、夏季及び冬季休業期間中の平日は午前9時から午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、学術情報センター長が必要と認めるときは、臨時に時間を延長または短縮することができる。

(図書等を利用できない日)

第6条 学術情報センターの図書等を利用できない日は、次の通りとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 曝書期間
- (4) 蔵書点検等に必要な期間
- (5) 年末年始
- (6) 春季、夏季及び冬季休業期間中における土曜日

2 前項の規定にかかわらず、学術情報センター長が必要と認めるときは、臨時に休館日を定めることができる。

（利用の停止等）

第7条 学術情報センター長は、別に定める施行規則等に違反した者に対し、図書等の利用を停止し、又は禁止することができる。

（損害賠償）

第8条 学術情報センターの機器、施設を滅失若しくは毀損したとき、又は資料を汚損若しくは紛失したときは、原状回復又は損害賠償の責を負う。

（規程の変更）

第9条 この規程は、教育研究評議会の議を経て変更することができる。

（規程の施行規則）

第10条 この規程に定めるもののほか、学術情報センターの利用に関し必要な事項は、学術情報センター長がこれを定める。

附 則

- 1 この規程は、2007年4月1日から施行する。
- 2 神戸市外国語大学図書館利用規程（2007年4月規程第81号）は廃止する。

附 則

この規程は、2009年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、2015年4月1日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報部会規程

2010年4月1日

規程第2号

(設置)

第1条 神戸市外国語大学教育研究評議会規程第8条第1項の規程に基づき学術情報部会（以下「部会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 部会は、学術情報センター（以下「センター」という。）に関する、以下の事項について審議する。

- (1) 資料の選択・収集・保存に関する事項
- (2) 情報発信・機関リポジトリに関する事項
- (3) 利用サービスの向上に関する事項
- (4) 地域貢献・市民開放に関する事項
- (5) その他、センターの運営に関する重要な事項

(組織)

第3条 部会は、次の委員で組織する。

- (1) センター長
- (2) 各学科・グループから選出された教員 7名
英米・ロシア・中国・イスパニア・国際関係学科から各1名
法経商・総合文化グループから各1名
- (3) センターグループ長
- (4) その他センター長が必要と認めた者

2 前項第2号に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第4条 部会に部会長をおき、センター長を充てる。

2 部会長は、部会を招集し、その議長となる。

3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した委員が、その職務を代行する。

(議事)

第5条 部会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 部会長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、センターにおいて行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会が定める。

附 則

この規程は、2010年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2011年4月1日から施行する。

(目的)

- 1 この指針は、公立大学法人神戸市外国語大学（以下「本学」という。）において運用する神戸市外国語大学機関リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）の運用方針を定めることを目的とする。

(定義)

- 2 この指針において「リポジトリ」とは、本学の教育研究活動において作成された成果を電子的に収集し、恒久的に蓄積・保存し、学内外に無償で発信・提供することにより、教育・研究の発展に資するとともに、広く社会に対し貢献することを目指すシステムをいう。

(管理運営)

- 3 リポジトリの管理・運営は、学術情報センター（以下「センター」という。）が行う。

(登録者)

- 4 リポジトリに登録できる者（以下「登録者」という。）は、次のとおりとする。

- (1) 本学に在籍する又は在籍したことのある教職員及び大学院生
- (2) 本学の学部・学科コース・研究科・研究所・センター等の各組織、又はそれらを母体とする団体
- (3) 本学内に事務局がある、又は(1)に該当する者が委員や代表を務める団体
- (4) その他、学術情報センター長（以下「センター長」という。）が特に認めた者

(登録対象)

- 5 登録対象は以下の要件を満たすものとする。

- (1) リポジトリに登録・蓄積・保存（以下「登録」という。）する範囲は、本学において作成された別表に掲げる教育・研究成果物（以下「成果物」という。）とする
- (2) 公開に当たって、法令上、社会通念上、及びセキュリティ上問題が生じないもの
- (3) ネットワークを通じて配信できること
- (4) その他、センター長が適当と認めたもの

(登録手続き)

- 6 登録者は、自らが作成又は作成に関わった成果物について、別に定める手続きにより、その登録作業をセンターに依頼することができる。

(登録された成果物の利用)

- 7 センターは、リポジトリに登録された成果物を次のとおり利用する。

- (1) 当該成果物を複製し、リポジトリを構成するサーバに格納する。
- (2) 前記の複製物をネットワークを通じて不特定多数に無償で公開又は送信する。
- (3) 保存・利用・送信の便宜のために必要に応じて媒体変換を行う。

- 8 センターは、リポジトリに登録された成果物の利用について、前項に掲げる利用方法以外による利用は行わない。

(著作権の周知)

- 9 センターは、ネットワークを通じて成果物を利用するものに対し、著作権法を遵守するよう周知する。

(成果物の著作権と利用許諾)

- 10 リポジトリに登録し公開する成果物について、著作権が複数の者に帰属している場合、登録者は、項目7に掲げる利用について、他の著作権者の許諾を得ておかなければならない。

- 11 リポジトリに登録された成果物の著作権は、著作権者の元に留保される。

(成果物の削除)

12 センターは、次のいずれかに該当する場合は、登録された成果物を削除又は非公開化することができる。

(1) 登録者から削除又は非公開の申請があった場合

(2) 他者に帰属する著作権，所有権等を侵害する，又は社会的にみて著しく不適切な内容を含むと，学術情報部会において認められた場合

(免責)

13 本学は、登録された成果物を利用することによって生じた利用者のいかなる損害・不利益についても、一切責任を負わないものとする。

(その他)

14 この指針に定めのない事項については、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、2012年4月1日から施行する。

別表（項目5関係）

種 別	対象となる成果物
紀要論文	紀要類に掲載された論文
学位論文	本学に提出された博士論文，修士論文
研究報告書	ワーキングペーパー，ディスカッションペーパー，研究報告・調査報告（科研費等の助成金による研究成果の報告書等）
学術雑誌論文	各種学術団体等が発行する学術雑誌，研究会誌等に掲載された論文
会議資料	会議録・予稿集に掲載された論文，発表資料，ポスター等
教育資料	授業，講習会などで用いる資料，配布資料（講義ビデオなど動画も含める）
書籍	全部又は一部
その他	

* 大学院生の成果物については、指導教官の承認を得ることとする。

神戸市外国語大学学術情報センター図書館利用規則

2013年4月1日
学術情報センター長決定
2014年11月4日改定

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程(以下「利用規程」という。)第10条に基づき、神戸市外国語大学学術情報センター図書館(以下「図書館」という。)の利用について必要な事項を定めるものとする。

(利用者の範囲)

- 第2条 利用規程第3条第1項第1号に掲げる「本学教職員」には、非常勤講師、非常勤職員、名誉教授及びこれに準じる者を含めるものとする。
- 2 利用規程第3条第1項第2号に掲げる「本学大学院学生」には、研究生、研修員、特別聴講学生及びこれに準じる者を含めるものとする。
- 3 利用規程第3条第1項第3号に掲げる「本学学生」には、科目等履修生、外国人交流学生、特別聴講学生及びこれに準じる者を含めるものとする。
- 4 利用規程第3条第1項第4号に掲げる「国内留学生」とは、神戸市外国語大学国内留学生の受入に関する規程(2007年4月規程第59号)第2条に規定する者をいう。
- 5 利用規程第3条第1項第5号に掲げる「本学客員研究員」とは、神戸市外国語大学客員研究員に関する規程(2007年4月規程第77号)第2条に規定する者をいう。
- 6 利用規程第3条第2項第1号に掲げる「本学の卒業生」には、大学院修了生及びこれに準じるものを含めるものとする。

第2章 図書館カード

(図書館カードの交付)

第3条 図書館を利用する者に対し、図書館カードを交付する。

(図書館カード交付の範囲)

第4条 図書館カードの交付を受けることができる者は、利用規程第3条に掲げた者とする。

(図書館カードの交付)

第5条 図書館カードの交付を受けようとする者は、カード申請書を学術情報センター長(以下「センター長」という。)に提出しなければならない。ただし、本学の教職員証又は学生証の交付を受けた者は、それをもって図書館カードの交付を受けたものとする。

(図書館カードの有効期間)

第6条 図書館カードの有効期間は、次表のとおりとする。

区 分	有効期間
本学教職員 本学大学院学生 本学学生 国内留学生 本学客員研究員	本学に在職又は在籍している期間(名誉教授は、称号が授与されている期間)
本学の卒業生	図書館カードを交付した日の属する年度の末日までの期間

(図書館カードの取り扱い)

第7条 図書館を利用するときは図書館カードを携帯し、図書館職員の求めに応じ、これを提示しなければならない。

2 図書館カードの利用者は、次の各号を守らなければならない。

- (1) 図書館カードを譲渡又は貸与してはならない。
- (2) 図書館カードを紛失、破損若しくは汚損したとき、又は氏名若しくは住所に変更があったときは、速やかに届け出なければならない。
- (3) 前号による届け出をした者で図書館カードの再交付を希望する者は、所定の手続きを経るものとする。

第3章 館内利用

(書庫の図書等の利用)

第8条 書庫の図書等を利用しようとする者は、所定の手続きを経るものとする。

(貴重図書の利用)

第9条 貴重図書を利用しようとする者は、事前に所定の手続きを行い、センター長の許可を得なければならない。

第4章 帯出利用

(帯出利用の手続)

第10条 図書等の帯出利用を受けようとする者は、図書館カードを提示し所定の手続きを行うものとする。

(帯出制限)

第11条 次の図書等は、帯出することができない。ただし、特別の事由がある場合は、センター長が許可した者に限り、センター長が定める一定期間帯出することができる。

- (1) 貴重図書
- (2) 視聴覚資料
- (3) 電子媒体資料
- (4) 寄託図書(卒業論文、修士論文等)

2 次の図書等は、本学教職員に準じるものに限り、センター長の許可を得て帯出することができる。

- (1) 参考図書
- (2) 逐次刊行物(最新刊、特に指定したものは除く)

(帯出の冊数及び期間)

第12条 帯出することのできる図書等の冊数及び期間は、次表のとおりとする。

区 分	冊 数	期 間	備 考
本学教職員 客員研究員	30 冊	12 週間	逐次刊行物は 5 冊 1 週間
本学大学院学生 国内留学生	20 冊	4 週間	
本学学生(3・4 年生)	10 冊	2 週間	
本学学生(1・2 年生) 本学の卒業生	5 冊	2 週間	

2 センター長は、次の各号の一に該当する場合は、前項の規定にかかわらず冊数を増加し、又は期間を延長することができる。

- (1) 春季、夏季及び冬季休業期間にかかる特別貸出期間
- (2) 特別の研究のため必要と認める場合
(帯出図書の取扱い)

第 13 条 図書の帯出者は、次の各号に定めるところを守らなければならない。

- (1) 帯出した図書等は、期間内に返却しなければならない。
- (2) 帯出した図書等は、いかなる場合も転貸してはならない。
- (3) 本学教職員の身分を失ったとき、又は本学大学院学生、学生が退学若しくは除籍処分を受けたときは、直ちに帯出中の図書等を返却しなければならない。
(帯出利用の停止)

第 14 条 前条第 1 号、第 2 号に違反した者は、次の定めるところにより資料の帯出利用を停止する。

- (1) 期間を超えて返却した場合には、返却した日から起算して期間を超えた日数の間、帯出利用することができない。
- (2) 前号の規定違反を繰返す者については、図書館の利用を停止することができる。

第 5 章 参考業務

(相談及び調査)

第 15 条 利用者は、教育若しくは研究上に必要な資料の利用についての相談、又は文献の書誌事項、資料の所在調査及び事項調査等を図書館に依頼することができる。

第 6 章 資料の複写

(資料の複写及び制限)

第 16 条 図書等を複写しようとする者は、複写申込書をセンター長に提出しなければならない。

2 前項の複写申込書の提出があったときは、著作権法(昭和 45 年法律第 48 号)に基づき適法な範囲で図書等の複写を行い、又は条件を付して図書等を複写させることができる。ただし、次の図書は、複写することができない。

- (1) 寄託図書のうち、寄託の条件として複写を禁止しているもの
- (2) その他特にセンター長が指定するもの

(複写の費用)

第 17 条 複写に要する費用は、申込者が負担する。

(著作権に関する責任)

第 18 条 資料の複写に関する著作権法上の責任は、申込者において負う。

第 7 章 資料相互利用

(資料相互利用)

第 19 条 本学教職員、本学大学院学生及び本学学生は、他大学図書館等との相互貸借要項及び指針等に従い、現物貸借、文献複写及び訪問利用の依頼を行うことができる。ただし、非常勤講師については、現物貸借及び訪問利用は利用できない。

(他大学図書館等からの貸借・訪問利用の依頼)

第 20 条 図書館は、他大学図書館等から図書等の利用依頼があった場合は、本学における教育又は研究上に支障のない限り、これを許可することができる。

第 21 条 前条による利用の依頼があっても、次の各号に該当する資料は、対象から除外する。

- (1) 教員専用図書として購入され教員の保管下にある資料
- (2) その他センター長が指定する資料

第 22 条 現物貸借で一機関に対する貸出冊数及び期間は、次のとおりとする。ただし、センター長が特に

必要と認めるときは、この限りではない。

- (1) 冊数 5冊以内
 - (2) 期間 搬送等に要する日数を含めて1月以内
- (文献複写の受託)

第23条 図書館が受託する文献複写の手続きについては、別に定める。

(現物貸借図書の複写)

第24条 利用者は、現物貸借で借り受けた図書を「図書館間協力における現物貸借で借り受けた図書の複製に関するガイドライン」(平成18年1月1日社団法人日本図書館協会、国公私立大学図書館協力委員会、全国公共図書館協議会策定)に従い、図書館職員の指示のもと、図書館が指定する複写機により、図書の一部を利用者一人につき1部複写することができる。

2 前項の規定にかかわらず、図書を貸し出した図書館(以下「貸出館」という。)が国立国会図書館のときには、図書館職員が、図書館が指定する複写機により、図書の一部を利用者一人につき1部複写をしたうえで、利用者に提供するものとする。この場合の複写にかかる料金は、第23条に基づき決めた定めを準用する。

3 前二項において、貸出館が事前に複写を禁止したときには、借り受けた図書を複写してはならない。

4 本条による複写を行うときには、利用者は、事前に様式第1号をセンター長に提出しなければならない。

(相互利用の費用)

第25条 資料相互利用に要する費用は、すべて利用者が負担しなければならない。

(神戸研究学園都市大学図書館との相互利用)

第26条 神戸研究学園都市大学図書館相互利用については、「神戸研究学園都市大学図書館相互利用直接貸出実施要綱」による。

(神戸市立図書館との相互貸借)

第27条 神戸市立図書館との相互貸借については、「神戸市立図書館と神戸市外国語大学学術情報センター間の相互貸借実施に伴う協議事項」による。

(国立国会図書館送信資料の利用)

第28条 国立国会図書館資料利用規則(平成16年国立国会図書館規則第5号)第5章の2の規定により国立国会図書館より送信を受けた資料の利用については、別に定める。

第8章 館内施設・機器等の利用

(館内施設の利用)

第29条 AVブース又はマイクロ閲覧室の設備を利用しようとする者は、所定の手続きを経るものとする。

2 マイクロリーダープリンターの利用にかかる費用については、次表の定めるところにより、申込者が実費負担するものとする。

種別	対象者	色	大きさ	1枚の複写料
マイクロフィルムの プリントアウト	本学大学院生 本学学生	モノクロ	B5判・A4判	25円
	学外者※1			35円

※1 学外者とは、本学教職員、本学大学院学生及び本学学生以外の利用者

(機器等の利用)

第30条 図書館内の情報機器を利用する場合は、「公立大学法人神戸市外国語大学情報資産運用・管理規

程」(2011年8月規程第1号)及び「公立大学法人神戸市外国語大学情報資産利用規程」(2011年8月規程第2号)の定めるところに従う。

第9章 損害賠償

(届出義務)

第31条 図書等を汚損又は紛失した者は、図書紛失・汚損届を提出しなければならない。

(賠償の決定)

第32条 センター長は、図書紛失・汚損届を受け、紛失状況及び損傷の程度を考慮の上、賠償の決定を行う。

(利用制限)

第33条 賠償する者は、賠償が完了するまでの期間、利用規程第4条に規定する帯出利用等の利用について制限を受けるものとする。

(賠償方法)

第34条 賠償の方法は、現物賠償により行う。ただし、センター長が、現物賠償が不可能又は代物若しくは金銭による賠償が適当と判断する場合は、センター長の指定する代物又は相当の金銭を納めることにより行う。

(賠償免除)

第35条 センター長は、以下の場合で、やむを得ない事由があると認めるときは、所定の手続きを経てその責任を免除することができる。

- (1) 災害(火災、水害、地震等)による場合
- (2) 盗難にあった場合(警察に被害の届出をしたものに限る。)
- (3) その他センター長が認めた場合

(賠償完了)

第36条 賠償は、賠償図書の納入又は賠償金の支払いをもって完了するものとする。

2 賠償した者は、賠償完了後、いかなる不利益も蒙らないものとする。

(賠償後の図書等の取り扱い)

第37条 損害賠償が完了した場合、いかなる理由があっても賠償した図書又は賠償金の返還はしないものとする。

2 賠償完了後、賠償した者から申し出がある場合、汚損又は紛失した当該図書を譲渡することができる。

附 則

この規則は、2013年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014年1月7日から施行する。

附 則

この規則は、2014年11月4日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報センター図書館文献複写要項

2013年4月1日

学術情報センター長決定

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規則第23条に基づき、資料相互利用における図書館が受託する文献複写の手続きについて必要な事項を定めるものとする。

(複写の目的)

第2条 文献の複写は、教育又は研究の用に供することを目的とする場合に限り受託することができる。

2 文献の複写は、神戸市外国語大学学術情報センター図書館に所蔵する図書等について行うものとする。

(依頼の対象者)

第3条 文献の複写を依頼することができる者は、次の各号のいずれかに該当する機関又は施設の所有者又は管理者とする。

- (1) 国立情報学研究所が実施する ILL 文献複写等料金相殺サービス加入機関
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条の大学又は高等専門学校に設置された図書館及びこれに類する施設
- (3) 大学等における教育に類する教育を行う教育機関で当該教育を行うにつき学校教育法以外の法律に特別の規定があるものに設置された図書館及びこれに類する施設(国又は地方公共団体又は民法第34条の法人が設置するものに限る。)
- (4) 学術の研究を目的とする研究所、試験所その他の施設で法令の規定によって設置されたものに設置された図書館及びこれに類する施設(国又は地方公共団体又は民法第34条の法人が設置するものに限る。)
- (5) 図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (6) 学校図書館法(昭和28年法律第185号)第2条に規定する学校図書館
- (7) 国立国会図書館法(昭和23年法律第5号)第1条に規定する国立国会図書館
- (8) 文部科学大臣が小学校、中学校又は高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設に設置された図書館及びこれに類する施設
- (9) その他学術情報センター長(以下「センター長」という。)が認めるもの

(複写の申込み)

第4条 文献の複写を依頼しようとする者は、申込書をセンター長に提出して、その承認を得なければならない。

2 センター長は、文献の種類によっては、前項の承認をしないことがある。

(複写料金の納付)

第5条 前条第1項の承認を得た者は、文献の複写料金を納付しなければならない。

- 2 文献の複写料金は、別表に規定する複写料及び複写物の送料を合算した額とする。
- 3 第3条第1項第1号に掲げるものについては、国立情報学研究所が実施する ILL 文献複写等料金相殺サービスの規程により支払うものとする。
- 4 文献の複写料金を支払う者は、料金の額及び支払期限を厳守しなければならない。
- 5 納付された複写料金は、還付しない。

附 則

この要項は、2013年4月1日から施行する。

別表

種 別	色・大きさ	複写料
電子複写方式	モノクロ・A3判以下	35円
電子ジャーナル・CD-ROM等プリントアウト	モノクロ・A4判以下	35円
マイクロフィルムプリントアウト	モノクロ・A4判以下	35円

神戸市外国語大学学術情報センター市民利用制度実施要綱

2007年11月7日制定

2013年4月1日改正

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター(以下「学術情報センター」という。)の市民利用制度に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 この制度は、本学における教育又は研究に支障のない範囲での学術情報センターの利用を通じて、市民の生涯学習に貢献することを目的とする。

(利用資格)

第3条 この制度を利用できる者は、次の各号の一に該当する満18歳以上の者とする。ただし、大学受験のための利用者は除外する。

- (1) 神戸市内に居住する者
- (2) 神戸市内の事業所等に勤務する者
- (3) その他学術情報センター長が認めた者

(利用者登録)

第4条 この制度の利用を希望する者は、登録に必要な書類を添えて学術情報センター長(以下「センター長」という。)に申請しなければならない。

- 2 センター長は、申請者を適格と認めたときは、利用者を登録し、利用者カードを交付する。
- 3 利用者カードの有効期限は、交付日から1年とする。

(登録料)

第5条 この制度の利用を希望する者は、次の各号に該当する場合、登録料として500円を支払うものとする。

- (1) 利用者登録を行なう場合
- (2) 有効期限を超えて再登録する場合
- (3) 紛失又は破損等で利用者カードを再発行する場合

(利用期間)

第6条 この制度による利用可能日は、学術情報センター開館中の土曜日並びに夏季、冬季及び春季の休業期間とする。ただし、学術情報センター長が必要と認めた場合はこれを変更することがある。

(利用方法等)

第7条 この制度による利用者は、学術情報センター所蔵資料の館内閲覧、館外貸出(5冊以内かつ2週間以内)及び複写(有料)の各サービスが利用できる。

- 2 その他の資料の利用及び関係諸施設・設備の利用については、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程(2007年4月規程第104号)による。

(雑則)

第8条 この制度について、この要項に定めのない事項については、学術情報センターの諸規定を準用する。

附 則

この要綱は、2007年12月1日から施行する。

附 則

この要綱は、2013年4月1日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報センター-国立国会図書館送信資料利用要項

2014年1月7日
学術情報センター長決定

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター図書館利用規則第27条に基づき、国立国会図書館資料利用規則（平成16年国立国会図書館規則第5号）第5章の2の規定により送信を受けた資料の利用について、必要な事項を定めるものとする。

(利用者の範囲)

第2条 送信を受けた資料を利用できる者は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程第3条第1項に掲げる次の者とする。

- (1) 本学教職員
- (2) 本学大学院学生
- (3) 本学学生
- (4) 国内留学生
- (5) 本学客員研究員

(利用方法)

第3条 送信を受けた資料の利用方法は、閲覧並びに複写物の作成及び提供とする。

(閲覧利用)

第4条 送信を受けた資料を閲覧しようとする者は、「国立国会図書館送信資料閲覧申込書」（様式第1号）をセンター長に提出し、閲覧室内の所定の機器で利用することができる。

2 閲覧利用に必要な識別番号、又は暗証番号は職員が管理する。

(複写利用)

第5条 送信を受けた資料の複写を依頼しようとする者は、「国立国会図書館送信資料複写申込書」（様式第2号）をセンター長に提出しなければならない。

2 前項の申込書の提出があったときは、申込者が第2条に該当する者であること、著作権法(昭和45年法律第48号)に基づき適法な範囲であることを確認の上、事務室内の所定の端末で職員が複写物を作成し、申込者に提供する。

3 複写物作成に必要な識別番号、又は暗証番号は職員が管理する。

4 申込者は、次表に規定する複写料金を納付しなければならない。

種別	色	大きさ	1枚の複写料
プリントアウト	モノクロ	A3判以下	35円
	カラー	B5判・A4判	75円
		A3判	105円

5 納付された複写料金は、還付しない。

(著作権に関する責任)

6 資料の複写に関する著作権法上の責任は、申込者が負う。

附 則

この要項は、2014年1月7日から施行する。

5) 沿革

年	月	
1949	2	神戸市外国語大学開設が認可される
1951	7	図書館規程の制定
1956	5	図書館建設工事に着工
1958	5	図書館創設
1959	4	図書館落成記念式典
1968	4	書庫を2層に増築
1970	4	開架図書室の新設
	4	ラトビア共和国科学アカデミー基礎図書館と図書交換協定を締結
	7	市民開放の実施
	11	図書館実態調査の実施
1971	9	中村文庫の設置
	○	提案箱設置, 希望図書制度の実施
1972	7	図書館実態調査報告書発行
	9	三木記念会より「三木記念文庫」設置の申し出あり
1974	1	外大図書館長選考規程制定
	9	図書館運営委員会に「神戸市外国語大学図書館改善要項」を提示
1975	10	紀要等大学刊行物が研究所から図書館に移管, 開架室での利用開始
1976	12	大学移転計画発表
	○	アフロ・アメリカ黒人文庫設置
	○	団文庫設置
1977	○	打田文庫設置
1978	○	天津外国語学院との図書交換開始
1981	2	「総合計画委員会」の第二分科会において大学移転に伴う図書館棟の検討が開始
1983	11	上海外国語学院との図書交換開始
1985	1	図書館竣工
1986	2	「外大図書館規程」「外大図書館利用規程」「外大図書館運営委員会規程」制定
	4	「図書館利用規程」の改正 貸出冊数制限の緩和, 利用可能資料の増加
	7	南開大学と図書交換に関する協定締結が承認
1987	7	図書館の市民開放を再開
1988	11	電算機導入準備委員会が「電算機システム導入に関する調査報告書」提出
1989		楠ヶ丘文庫設置
1990	4	「神戸研究学園都市大学連絡協議会」にて「図書館部会」の設置が決定
	8	BDS 導入
1991	9	図書館報「AD ALTIORA SEMPER」創刊
	9	「神戸研究学園都市大学連絡協議会図書館部会の発足
	10	「島尾敏雄文学展」と記念講演会「島尾敏雄と神戸」の開催
1992	8	森田文庫設置
1993	6	「神戸市図書館情報ネットワーク研究会」発足
1994	3	「神戸市図書館情報ネットワーク研究会」から調査報告書提出
	3	「打田文庫目録」第1冊刊行
	4	図書館業務電算化の基本調査に着手
	4	ハンガリー科学アカデミー図書館との雑誌交換開始
1995	1	阪神淡路大震災発生
	2	図書館利用再開
	3	学内 LAN 敷設
	10	図書館業務の電算化 「図書館利用規程」改正
	10	「学内 LAN 運営規程」制定
1995	12	学内 LAN 利用の開始
	12	学術情報センター-ILL (図書館間相互貸借) に加盟
1995	○	CD-ROM 提供開始
1997	4	土曜日の利用時間が 13 時-21 時から 10 時-17 時に変更

- 1997 ○ WWW 利用可能マシンの設置
- 1998 1 雑誌検索マシンの設置
- 1998 4 神戸研究学園都市大学連絡協議会加盟大学の図書直接貸出が教員を対象に開始される
 - キーワード検索マシンの設置
- 2000 4 職制改正により、研究所の視聴覚教育係と統合し「図書館情報管理サービス係」となる
- 2001 1 「神戸市図書館情報ネットワークシステム」システム更新
- 1 NACSIS 新 CAT 対応、インターネット・携帯電話からの蔵書検索が可能に
- 2001 6 神戸市内の公共図書館との相互貸借サービス開始
 - 地方自治情報センターから「地方公共団体優秀情報処理システム」として表彰される
- 2002 5 OPAC による予約受付開始
- 10 秋季図書館ガイダンスの実施
 - 「よくある質問」の配布開始
- 2003 ○ 神戸研究学園都市大学連絡協議会加盟大学の図書直接貸出の対象が院生まで拡大される
- 2004 10 洋雑誌のオンライン版（オンラインジャーナル）の提供開始
 - 神戸研究学園都市大学連絡協議会加盟大学の図書直接貸出の対象が学生まで拡大される
- 2005 4 閲覧席 40 席増設
- 6 ILL メール通知サービス開始
- 2006 1 新図書館業務クライアント、OPAC 稼動 WebOPAC 予約可能に
- 3 入退館システム導入
- 4 図書館の組織変更「学術情報係」「情報メディア係」の 2 係に
- 12 「司書のおすすめ」開始
- 2007 4 「学術情報センター」に改称
- 11 ILL 相殺システムに参加
- 12 利用を拡充した「図書館市民利用制度」の開始
- 2008 2 空調設備改修
- 4 パスファインダー「infosheet」発行
- 8 閲覧室拡張工事開始
- 2009 4 土曜日の利用時間が 18 時まで延長
- 4 閲覧室増築工事完成 閲覧席増設 視聴覚ブース移設完成
- 6 ゼミガイダンスの開始
- 6 図書館 Web サイトのリニューアル
- 2010 4 学術情報部会の設置
- 7 館報 32 号よりリニューアル発行
年次報告発行
- 2011 3 第二閲覧室 1 階に無線 LAN 敷設 ノートパソコン 24 台、プリンタ 3 台配置
- 3 小西文庫設置
- 10 ビブリオバトル開催
- 11 選書ツアー センター長茶話会実施
- 11 機関リポジトリ設置について教授会で承認
- 12 NII に JAIRO Cloud の利用を申請し承認される。
- 2012 1 リポジトリワークショップ開催
- 2 「公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針」が教授会で承認
第二閲覧室 1 階にノートパソコン 8 台、プリンタ 1 台追加。パソコン 32 台、プリンタ 4 台に
- 3 B D S, 入退館ゲート入れ替え
- 4 「公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針」施行
- 5 JAIRO Cloud によるリポジトリ構築開始
- 6 書庫 2 階現代中国語資料のデータ遡及事業
- 8 CSI 委託事業「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」（領域 1）受託
- 8 リポジトリ試験公開開始
- 10 初年次教育（図書館の使い方）実施
- 11 Re ユース実施
- 11 来館者アンケート実施

- 2013 3 製本新聞の保管庫（本部棟地下）新設
- 4 学術情報リポジトリ正式運用開始
洋装漢籍本廻及入力開始
- 8 教員著作コーナー設置
- 2014 1 「神戸市外国語大学学術情報センター国立国会図書館送信資料利用要項」制定
- 3 ロビー・トイレ改修工事 ラーニングcommons設置
書庫3階種蜜書架改修工事
- 4 組織改正・情報メディア班が経営企画グループに
ラーニングcommons供用開始
授業期の開館時間を8:40開館に変更
1・2年生の貸出冊数5→10冊
- 6 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用開始
- 8 OPACリニューアル・ILLのWeb受付開始
- 9 図書館Facebook公開（試行）
ラーニングcommons・第二閲覧室PC更新，学認に参加（情報基盤更新）
- 10 ラーニングアドバイザー（LA）活動開始
ノートPC10台図書館内貸出利用開始

6) センター長（図書館長）

氏名	任期	氏名	任期
図書館長		20	高原 脩 1991.4.1～1994.3.31
1	寺沢 智了 (文部事務官) 1949.4.1～1952.5.30	21	北島 霞 1994.4.1～1997.3.31
2	小川 佐太郎 1952.6.1～1953.9.30	22	原田 松三郎 1997.4.1～2000.3.31
3	山下 修 1953.10.1～1955.9.30	23	大塚 秀之 2000.4.1～2003.3.31
4	岩井 茂 1955.10.1～1957.9.30	24	佐藤 晴彦 2003.4.1～2006.3.31
5	本田 実 1957.10.1～1959.9.30	25	近藤 義晴 2006.4.1～2007.3.31
6	山本 守 1959.10.1～1961.9.30	学術情報センター長	
7	久保 次郎 1961.10.1～1963.9.30	26	益岡 隆志 2007.4.1～2010.3.31
8	川崎 武夫 1963.10.1～1965.9.30	26	和田 四郎 2010.4.1～2011.3.31
9	沢井 澄 1965.10.1～1967.9.30	27	益岡 隆志 2011.4.1.～2014.3.31
10	本多 三七 1967.10.1～1969.9.30	28	太田 斎 2014.4.1～
11	林 雪光 (館長職務代行) 1969.10.1～1970.6.6		
12	木村 保重 (館長職務代行) 1970.6.7～1972.10.31		
13	貫名 美隆 1972.11.1～1974.3.31		
14	貫名 美隆 1974.4.3～1977.3.31		
15	大芝 孝 1977.4.1～1980.3.31		
16	小西 友七 1980.4.1～1983.3.31		
17	赤松 光雄 1983.4.1～1986.3.31		
18	蔵中 進 1986.4.1～1989.3.31		
19	赤松 光雄 1989.4.1～1991.3.31		

神戸市外国語大学学術情報センター



神戸市外国語大学は2016年
に創立70周年を迎えます。

図書館年次報告 2014年度

2015年6月10日 発行

神戸市外国語大学学術情報センターグループ